

令和7年度学校評価（自己評価・学校関係者評価）

《 自己評価の基準〔※教員の自己評価〕 》

4：十分に達成している（適切である） 3：概ね達成している（概ね適切である）

2：不十分である（やや適切ではない） 1：改善を要する（適切ではない）

※下枠内の項目「平均」の数値 ⇒ 自己評価の平均値

《 学校関係者評価 》

令和8年2月24日（火）13時30分 実施

学校評議員5名 葛西 宣彰 氏（有限会社ウィズ代表取締役）

信夫恵美子 氏（函館大妻高等学校教育支援カウンセラー）

高村 智 氏（函館大妻高等学校 PTA 会長）

佐々木 香 氏（函館市女性会議会長）

山田 伸二 氏（元函館地区私立高等学校長会会長）

【学校運営】

	平均	自己評価の結果（達成状況・結果の分析）	改善方策（自己評価を踏まえた課題、改善の方向）
1 教育目標や重点目標が、生徒の実態や保護者・地域社会の願いを踏まえた内容になっていると思いますか。	3.4	建学の精神や学校経営方針、目標を定期的に発信し、理解の上に教育活動が進められるよう長期休業前後や「探究ノート」を通じて発信したが、伝わり切れたか確認作業が不十分であった。	建学の精神や学校経営方針、目標は今後も継続して発信するほか、適切な振り返りとなるよう、個人への積極的な声掛け・面談を増やし共通理解に繋げたい。また、自己評価の項目の見直しを進める。
2 建学の精神や学校経営方針が、教職員に理解されていると思いますか。	2.9		
3 中学校訪問を実施するなど定員を確保し、安定した教育環境づくりを心掛けていると思いますか。	3.4		
4 特色ある教育活動、学校づくりを進めていると思いますか。	3.5		
評価（自己評価・改善方策の適切さを、それぞれA・B・Cで評価してください）		評価欄 A-4人 B-1人	評価欄 A-2人 B-3人
学校評議員からの意見	<ul style="list-style-type: none"> ・建学の精神を理解していない生徒も多いと聞くので、私学としてもっと発信すべきと感じます。 ・教職員皆が原点回帰し、大妻の建学の精神の意味を学び直す場を作るのが良い。 ・分掌の固定化、分掌内での担当の固定化の解消の一層の促進。仕事量の格差解消の促進。 ・職員が多いほど、建学の精神や経営方針を共有することは難しくなるので、グループワーク研修を行うことでコミュニケーション力やチームワーク、主体性の向上、問題解決力が鍛えられます。 ・日々の指導は大切であり、指導の手を緩めてはならない。 ・「大妻らしさ」とは何か。誰もが同じように答えられることが重要である。 ・卒業生として大妻への思いは強い。教育理念を地域に発信して欲しい。 		

【教育課程・学習指導】

	平均	自己評価の結果(達成状況・結果の分析)	改善方策(自己評価を踏まえた課題、改善の方向)
5 学科・コースの特性を生かした教育課程を編成していると思いますか。	3.5	生徒による授業評価が、先生方の授業力向上に結びついているのか、個人の感覚に任せるだけでなく、次の段階としての適切な評価分析が必要になっている。	先生方の年間授業計画を下に、授業力向上へのきっかけとなる指導を行う。また、令和8年度から学年進行で、一人一台端末環境が整う。ICTを積極的に活用した実践が広がるよう、教務部やPC・BLEND委員会と連携していく。
6 生徒に寄り添い、生徒の実態に即した分かりやすい授業を実践していると思いますか。	3.2		
7 生徒による授業評価を参考に、授業力向上に向けて工夫を加えていると思いますか。	3.0		
8 生徒の資格取得や技術の習得に向けて努めていると思いますか。	3.5		
評価(自己評価・改善方策の適切さを、それぞれA・B・Cで評価してください)		評価欄 A-3人 B-2人	評価欄 A-4人 B-1人
学校評議員からの意見	<ul style="list-style-type: none"> ICTを活用するには教師側の理解度や工夫が必要です。 ICT機器の活用は積極的に進める必要がある。 		

【生徒指導】

	平均	自己評価の結果(達成状況・結果の分析)	改善方策(自己評価を踏まえた課題、改善の方向)
9 服装・頭髪・身だしなみ、遅刻・欠席、挨拶などの基本的な生活習慣の育成を図っていると思いますか。	3.2	報告・連絡・相談に関して、困った時に仲間同士伝え合える環境なのか。個人のプライドなのか、情報共有が人によって偏っている。また、予防的な環境整備については、例えば休み時間・昼休みの教室確認や校内巡視の頻度が低下している現状がある。	担任と副担任の連携を強め、クラスの状況確認を行う。指導する・しないが偏らないよう、適時指摘、確認、感謝や依頼等、直接言葉にすることを大事とする。また、他の先生の業務に配慮していくことも課題である。SNS使用に関する指導は外部講師からの講演の他、事例を挙げてHRで定期的に行う。
10 報告・連絡・相談など教職員間で連携を取り、協同の下、問題行動への適切な対応ができていると思いますか。	3.0		
11 安心・安全・居場所のある学校環境づくりを目指し、いじめや非行防止に努めていると思いますか。	3.3		
12 講習会等も活用し、SNSの適切な使用についての指導を継続していると思いますか。	2.9		
評価(自己評価・改善方策の適切さを、それぞれA・B・Cで評価してください)		評価欄 A-3人 B-2人	評価欄 A-4人 B-1人
学校評議員からの意見	<ul style="list-style-type: none"> 教員、生徒共にコミュニケーションの強化が必要。 生徒指導は生き方指導。授業だけでなく学校すべての時間が生徒指導。そのことを教員全員が改めて考えたいと思う。 SNSに関して、辻調の入学式で講演していた内容が良かったので参考にしてほしい。 問題行動が減少傾向にあるのは良いが、学年で抑えているだけでは根本的解決にはならない。いじめが表面化しにくい点も懸念される。 生徒の異装の増加は、厳しい指導が中学校側にマイナスイメージを与えることもあるが、必要な指導は変えてはならない。 指導で行き詰まった場合は、管理職に相談しながら解決してほしい。 		

【進路指導】

	平均	自己評価の結果(達成状況・結果の分析)	改善方策(自己評価を踏まえた課題、改善の方向)
13 外部講師による進路選択のためのガイダンスなどが、効果的に機能していると思いますか。	3.6	全学年を通じて進路意識を高めていくための企画を実現している。1年次から段階を追って進路意識を高め、進路決定100%に結びつけている。	教員は進学先や就職先の現況について、常にアンテナを高くし、情報を増やす。また、若い担任が増えているので、進路指導部のリーダーシップのもと、生徒・保護者が安心、納得となるような関わりを持たせる。
14 進路に関する情報を適切に提供し、決定は保護者と連携して適切に指導していると思いますか。	3.4		
15 講習や模擬試験、面接練習など、進路実現に向けた指導・支援が積極的に行っていると思いますか。	3.5		
16 本校の進路指導は、満足できる成果が上がっていると思いますか。	3.5		
評価(自己評価・改善方策の適切さを、それぞれA・B・Cで評価してください)		評価欄 A-4人 B-1人	評価欄 A-4人 B-1人
学校評議員からの意見	<ul style="list-style-type: none"> ・AI化の今後、求められるスキルは、1.戦略的学習力、2.心理学、3.指導力、その他、人としてのスキル。 ・周囲からは、大妻は就職が多いという声を聞きます。中学校への声かけも重要だと思います。 ・保護者が大妻に求めるものに対し、教員がどのように取り組むべきか考えてほしい。 		

【健康・安全指導】

	平均	自己評価の結果(達成状況・結果の分析)	改善方策(自己評価を踏まえた課題、改善の方向)
17 感染症対策として体調不良者への迅速な対応や手洗いの励行、学校環境衛生の維持など、指導・点検を行っていると思いますか。	3.3	避難方法や心構えに関しては、先生方から発信して確認に動くので頼もしい限りである。ただ、災害は休日にも可能性があることから、生徒の安全確保を第一に行動することになっている。	マニュアルの見直しが急務である。その上で事例を元に、平日頃から緊急時の対応について伝えていく。
18 性教育や薬物乱用防止教室等を通して、生徒の健康面に配慮した適切な指導が行われていると思いますか。	3.4		
19 抱える悩みや困りごとに、教員やカウンセラーが相談に応じる体制を整えていると思いますか。	3.3		
20 災害時・非常時の避難方法や心構え、連絡方法を周知していると思いますか。	2.9		
評価(自己評価・改善方策の適切さを、それぞれA・B・Cで評価してください)		評価欄A-3人 B-1人 C-1人	評価欄 A-2人 B-2人 C-1人
学校評議員からの意見	<ul style="list-style-type: none"> ・口頭での周知に加え、実践的な訓練を継続して行うことの重要性を感じるので繰り返し体験することで、一人ひとりが自分ごととして捉えられるようになり、防災意識のさらなる向上に繋がると考えます。 ・常に生徒の変化に目を向け対応していると感じますが、先生任せにならないようチームで取り組むことを期待します。 ・生徒の多様化が進む中、指導の極細かさは向上しているが、教員間の意思疎通が十分でない場面も見られる。 		

【特別活動】

	平均	自己評価の結果(達成状況・結果の分析)	改善方策(自己評価を踏まえた課題、改善の方向)
21 学校行事の内容・実施時数及び事前指導・事後の評価等が適切になされていると思いますか。	3.1	反省を確実にいき、先生方と共有できる体制を整えていく必要がある。	特待生含め部員に対しては、教育活動の一環として人間教育を徹底する。また、可能な限り、生徒の側に立った行事を実行できるよう検討を重ねる。
22 学校行事は生徒にとって有意義なものになっていると思いますか。	3.2		
23 生徒会行事、部活動等が活性化されていると思いますか。	3.2		
評価(自己評価・改善方策の適切さを、それぞれA・B・Cで評価してください)		評価欄A-3人 B-1人 C-1人	評価欄 A-4人 B-1人
学校評議員からの意見	<ul style="list-style-type: none"> 生徒自身で責任を持つ活動を増やすことで生徒の成長にも繋がると思います。考え行動する体験は社会では必須であると理解してくれるでしょう。 大妻祭の展示については工夫がほしい。書道部や家政科などの作品をもっと見たいと思う。 行事全般について、生徒側に立つのも大切だが、教員が学校行事を通して何を与え、どのように成長させるのかという教員の共通理解が大事だと考えます。行事には生徒を成長させるという目的があり、そのための意図を持った手立てを大切にしたいものです。 		

【地域連携】

	平均	自己評価の結果(達成状況・結果の分析)	改善方策(自己評価を踏まえた課題、改善の方向)
24 地域を担う人材の育成を積極的に行っていると思いますか。	3.2	進学が多く、函館から離れる割合も増え、人材供給という意味での地域貢献とはなっていない。コロナ以降、地域とつながる行事が少なくなった。	特別授業・学科行事を中心として、これまでに以上に地域と共にある学校であるために、地域と各施設との良好な関係性を築き、各行事を継続して行く。
25 清掃活動や福祉施設等へのボランティア情報を提供して、地域活動への参加を促していると思いますか。	3.3		
評価(自己評価・改善方策の適切さを、それぞれA・B・Cで評価してください)		評価欄 A-2人 B-3人	評価欄 A-3人 B-2人
学校評議員からの意見	<ul style="list-style-type: none"> 良好な関係を築くための、より具体的な施策、行動について検討(生徒も含め)が必要。 もっと地域の企業などと繋がりたい。新聞などの活用の他、「子ども食堂」なども活用できます。 ボランティアの依頼には積極的に参加してほしい。どの活動がPRに繋がるか分からない。 生成AIの活用が必要な時代であり、外部講師による特別授業など取り入れてほしい。 		

【その他】

	平均	自己評価の結果（達成状況・結果の分析）	改善方策（自己評価を踏まえた課題、改善の方向）
26 就学支援金のしくみや奨学金、授業料軽減制度の案内は、きちんと周知されていると思いますか。	3.2	中学生への魅力的な発信（SNS）は生徒募集委員会を中心に実行できた。SNS 活用促進のため、緊張感を持って Instagram や TikTok を積極的に活用した。	生徒募集委員会を中心に更に衆知を集め、新しい形での発信を進める。また、HP 等、既存のデータ・映像の更新を積極的に進める。
27 オープンスクール・体験入学の実施やホームページの活用は、外部への効果的な情報発信になっていると思いますか。	3.5		
評価（自己評価・改善方策の適切さを、それぞれ A・B・C で評価してください）		評価欄 A-3人 B-2人	評価欄 A-4人 B-1人
学校評議員からの意見	<ul style="list-style-type: none"> ・これからもっと情報発信することを期待します。 ・保護者が安心して任せられる学校であることが重要。 ・Instagram の写真が良くなっており、今後も積極的に情報発信してほしい。 		